



農家の
専門店



こいけや

(株)小池勝次郎商店

> 安心・安全な農薬の使い方

[HOME](#)



[こいけや便り](#)
[年間予定](#)
今月の予定

[2011年12月](#)
[2011年11月](#)
[2011年10月](#)
[2011年9月](#)
[2011年8月](#)
[2011年7月](#)
[2011年6月](#)
[2011年5月](#)

[講習会](#)
[店舗案内](#)
[お問い合わせ](#)
[地図](#)
[会社概要](#)
[リンク](#)



[ハウス](#)
[保冷庫](#)
[長芋・里芋](#)
[春ジャガイモ](#)
[地元産新米](#)



[春・夏野菜準備編](#)
[秋野菜編](#)
[病害虫対策](#)
[野菜用除草剤](#)
[土作りの基本](#)
[農薬の使い方](#)

安心安全な野菜を作るために有効な事

★農薬の使用を少なくする。

① 作付け

◆ 連作を避ける

同じ科の作物を連作すると前作の病原菌が残った状態のため、病気が多発するおそれがあります。

◆ 相性の良い作物を近くに植える。(コンパニオンプランツ)

植え付けの組み合わせによって、病害虫を防ぐ場合があります。

《一例》

主野菜	虫・病名	コンパニオンプランツ (どれか1種類)
きゅうり	つる枯れ病予防	ニンニク・ラッキョウ・玉ねぎ
トマト	青枯れ・立ち枯れ病予防	ニンニク・ラッキョウ・玉ねぎ
ナス	青枯れ・立ち枯れ病予防	ニンニク・ラッキョウ・玉ねぎ
トマト	アブラムシ・うどん粉病予防	チャイブ
にんじん	アブラムシ・うどん粉病予防	チャイブ
	アオムシ予防	ミント類・セージ・タイム・ローズマリー
	アブラムシ予防	ミント類
	アブラムシ予防	ニンニク
	オンシツコナジラミ予防	マリーゴールド

◆ 緑肥の活用

作付け前に緑肥を生育したり作物の周辺に生育させる事によって、天敵を増やし病害虫を防ぐ効果があります。

② 圃場作り

◆ 水はけを良くする。

湿気が多い事で発生する病気がたくさんあります。また、伝染する恐れも増します。

◆ 通気性を良くする(過密にならないようにする)

過密であると病気の蔓延や害虫の繁殖が多くなってしまいます。また、湿度も高くなるため病気の発生も多くなってしまいます。

③ 害虫防除資材の活用

◆ 防虫ネット



害虫の侵入を防ぎます。

◆ シルバーマルチ



雑草の発生を抑えるだけでなく、銀色の反射光が害虫を避けます。





[葱 \(ひっぱりくん\)](#)

[麦](#)

[タマネギ](#)

[水稻関係](#)

[キャベツ](#)

[ブロッコリー](#)

[ほうれん草](#)

[小松菜](#)

[おススメ野菜種](#)



[播種資材関係](#)

[ごんべえ](#)

[ひっぱりくん](#)

◆ 粘着トラップ



トマト・ナス・イチゴ等のハウス栽培にてコナジラミ類、アザミウマ類、ハダニ類等の繁殖を抑えます。

◆ フェロモントラップ



フェロモントラップとは、容器の中にメスのにおいのする薬を入れ、オスをおびき出して殺す罠のことです。【フェロモンデイン】と言う薬は、ハスモンヨトウに効果があり、農薬を圃場に使用せずに激減させる事が出来ます。

◆ 敷きワラ(または敷き藁の代替資材【ワラサラバー】)

敷き藁や【ワラサラバー】をかぼちゃ、スイカ、メロン、地這きゅうり等の果菜類に敷く事により、病気の果実への飛散を防ぎます。

★安全な農薬の使用

① 自然農薬

◆ 木酢液・竹酢液

10倍程度の濃度で土壤に散布することにより、ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウによる被害を防ぐ効果があります。また、300～500倍の農薬で葉に散布すると、病気に対して強くなる効果があります。(高温時は薬害の恐れがあるので避けましょう。)

◆ 米酢

米の醸造酢を25倍～50倍に薄めて使用すると、耐病性が高まり病気が出にくくなります。

酢が作物に良く付着するように粉石けんを少量まぜると効果的です。

◆ ストチュウ

米酢の効果をもより強力にするために、焼酎を混ぜる方法があります。これを【ストチュウ】と言います。

10リットルの水に米酢30ccを混ぜ、後は米酢と同じ使い方をします。

◆ 牛乳

薄めずにそのまま散布するとアブラムシに効果があります。

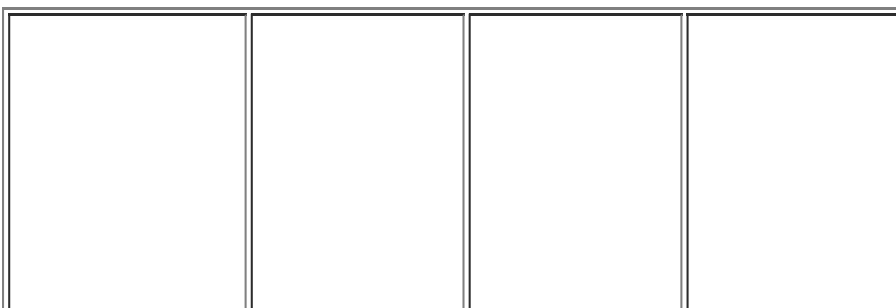
ただし、果実の散布する場合は臭いが残る事があるので散布する部分や時期に注意しましょう。

◆ コーヒー液

インスタントコーヒーを水に溶かしてスプレーするとダニの防除に効果があります。

② 有機栽培適合農薬(通常の農薬より安全性が高いと言われています。)

◆ 生物農薬





◆ BT剤



◆ 天然成分農薬



③ 選択性の高い農薬

◆ 通常の農薬であっても、比較的新しい農薬は『選択性が高い』(=特定の病害虫にしか作用しない)ものが多いため、人体や環境に優しいと言われています。

※ ①自然農薬・②有機栽培適合は通常の農薬と比べ、一般的に効果は低いと言われています。また、通常の農薬でも適正な用法・用量を守って使用すれば、基本的に人体に害はありません。極力、農薬の使用量を減らす努力をした上で、適切に農薬を利用する事で安全安心の美味しい野菜が出来ます。

病害虫でわからない事がありましたらいつでもご相談下さい。
こいけやもわからないことは全力で調べてお答え出来る様頑張ります。